

天文台の行事

申込方法 受付開始日の9:00から科学館HPまたは来館で
※星の教室は、空きがあれば当日申込み可



星の教室「秋の星空の楽しみ方

～星座の見つけ方・歴史・神話について～

■日時／9月22日(日) 14:00～16:00 ■定員／先着50名 ■参加料／無料
■講師／伊藤正光先生(旭川天文同好会)
■申込期間／8月23日～9月21日

天文普及講演会「暗黒宇宙の正体に迫る

～95%を占めるダークマターとダークエネルギーとは?～

■日時／9月23日(月・祝) 14:00～16:00
■講師／谷口義明教授(放送大学特任教授)
■定員／100名(抽選) ■参加費／無料
■申込期間／8月23日～9月13日

星の教室(オーロラに関する講座を予定しています)

■日時／11月24日(日) 14:00～16:00
■講師／松岡亮先生
■定員／先着50名 ■参加費／無料
■申込期間／10月25日～11月23日

親子天文博士

親子で天体望遠鏡の組立・設置・観測の体験をします

■日時／9月15日(日) 19:00～20:30
■対象／小学生以上の児童・生徒とその保護者 ■定員／6組(抽選)
■参加費／無料 ■申込期間／8月16日～9月5日

天体を撮る会「土星・木星・月の撮影」

科学館の天文台の望遠鏡に持ち込んだカメラを接続して土星・木星・月を撮影します。

■日時／11月14日(木)～17日(日) 18:00～20:00
■対象／どなたでも(中学生以下は保護者同伴) ■定員／7組(抽選)
■参加費／無料 ■申込期間／10月15日～11月4日

天体を見る会

秋の星と土星・海王星・月の観測

9月14日(土)19:30～21:00 [申込期間] 8月15日～9月4日

中秋の名月と土星・海王星の観測

9月17日(火)19:30～21:00 [申込期間] 8月18日～9月7日

秋の星と土星・海王星・天王星・月の観測

10月12日(土)19:00～20:30 [申込期間] 7月18日～8月7日

秋の星と土星・木星・海王星・天王星・月の観測

11月9日(土)19:00～20:30 [申込期間] 10月10日～10月30日

■対象／どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
■定員／各50人(抽選) ■参加費／無料

	9月	10月	11月
天文台 スタンプ ラリー			

天文台の望遠鏡で星を観察すると、毎月1回スタンプを押せます。
連続して3ヶ月分スタンプを集めると記念品がもらえます(連続していれば台紙をまたいでもOK)。

天文台やプラネタリウムの情報をCHECK!

サイバル天文

@SCIPALgnf65_zmp
X(旧Twitter)



旭川市科学館サイバルの天文台やプラネタリウムに関する
イベント情報、天文現象などをSNSでお伝えします。

◆開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

9～11月の
休館日

9月2日(月)・9日(月)・17日(火)・24日(火)・27日(金)・30日(月)
10月7日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)・31日(木)
11月5日(火)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・29日(金)

◆観覧料

科学館		博物館	観覧料(円)				中学生 以下
常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	常設展示 (1日)	大人		高校生		
			個人	団体	個人	団体	
●	—	—	410	320	280	210	無料
—	●	—	330	260	220	170	
●	●	—	520	410	350	280	
●	—	●	530	430	350	280	
—	●	●	470	370	310	240	
●	●	●	760	620	510	400	

☆ プラネタリウムの観覧券をご購入いただいた回のみ有効です。

☆ 団体料金は、同じ料金の方が20名以上の場合に適用となります。

☆ 次に該当する方は、観覧料が免除になります。

(①②に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者(介助対象者と同人数まで)

②介護保険法に定める要介護者の方と介助者(介助対象者と同人数まで)

③学校の児童生徒等を引率する教員

④団体見学申込書による一般団体引率者の方(1/10の人数まで)

☆次に該当する方は、科学館の観覧料が5割減額となります。

(①に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各市在住の満70歳以上の方

②旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各市の高校に通学または在住する高校生20名以上の団体



次のパスポートをお買い求めいただいた方は、

最初に使用した日から1年間対象施設を何度でもご覧いただけます。

種類	対象施設	料金(円/枚)	
		大人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,040	660
博物館・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 博物館の常設展示	1,560	1,040
動物園・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 旭山動物園	2,230	

上記パスポートは科学館の受付または市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。

「サイバル☆みらい基金」にご協力ください

新たな展示や企画展、特別展の開催などに役立てられる基金です。寄附は、
個別でのお申し込みのほか、館内に設置している募金箱からもご協力い
ただけます。

【お断り】掲載している投影・イベント情報については、諸般の事情により中止又は延期となる
可能性がありますので、予めご了承ください。最新の情報についてはホームページをご覧ください。

旭川市科学館

〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

【電話】0166(31)3186(代表) FAX:0166(31)3310

E-mail kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

HP https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/index.html

●表紙画像:2024年7月頃の紫金山・アトラス彗星

●撮影:サイエンスボランティア旭川 中西要成 氏



プラネタ リウム

PLANETARIUM

2024

秋

AUTUMN



一般番組【小学校高学年～大人向け】

その日の旭川の星空と、さまざまな天文現象などを生解説する約40分の番組です。季節や現象に合わせて内容を更新してお届けしています。

秋の一般番組

9/1～10/30
の番組テーマ

月と衛星のお話し

11/1～12/29
の番組テーマ

クリスマスのお話し

なかよしタイム／幼児番組【幼児～小学校低学年向け】

季節の主な星座や星にまつわる物語を中心にお届けする約20分の番組です。幼稚園・保育所等の団体利用でもご利用ください。

9/1～9/29 かぐやひめ

10/1～10/30 ほしぞらえいご★せいざのやかたのハロウィン

11/1～12/29 クリスマスのふしぎ

はじめてのプラネタリウム

ほし いろ そら いろ
それいけ! アンパンマン～星の色と空の色～

※祝日及び振替休日、旭川市立小中学校の夏・冬休みのうち土・日曜日に投影

特別投影

「プラ寝タリウム」

11月23日(土)～ 13:00～

ドームシアター【小学生～大人向け】

8月～9月 スペースフロンティア



10月～11月 アジアンヒーリング



◆ 9～11月の投影時間

		午 前		午 後				
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
投影開始時刻	平日	団体専用	なかよし タイム ※団体予約により変更あり		一般番組	なかよし タイム	ドーム シアター	一般番組
	土日	団体専用	なかよし タイム					
	祝日等※	団体専用	なかよし タイム					

※特別投影・団体予約・催事により番組の内容や時刻を変更する場合がございます。

※定員は170名です。 ※団体利用の場合は3日前までにご予約ください。

※祝日等とは、祝日及び振替休日、旭川市立小中学校の夏休み及び冬休みのうち土・日曜日

学習番組(学校団体利用のみ)

小学校・中学校の団体見学向けに、理科の教科書に沿った内容の番組を投影しますのでお問い合わせください。ご予約については、2週間前までにお申し込みください。

	9月	10月	11月
プラネタリウム スタンプラリー			

スタンプを3個そろえたら、スタッフに声をかけてね。

こよみと天文現象

空にかざして
使ってみよう!

9月

- 3日 ○新月
- 5日 水星が西方最大離角(明け方に東の空で見やすくなる)
- 7日 白露(太陽の黄経が165°になる)
- 9日 土星が衝(0.6等)

11日

- 上弦
- 17日 中秋の名月
- 18日 ●満月
- 19日 彼岸
- 21日 海王星が衝(7.7等)
- 22日 秋分(太陽の黄経が180°になる)

25日

- 下弦
- 28日 紫金山・アトラス彗星が近日点通過

10月

- 3日 ○新月
- (南アメリカ大陸で金環日食/日本からは見えない)
- 8日 寒露(太陽の黄経が195°になる)

11日

- 上弦
- 17日 ●満月
- 23日 霜降(太陽の黄経が210°になる)

24日

- 下弦

11月

- 1日 ○新月 木星が衝
- 7日 立冬(太陽の黄経が225°になる)
- 9日 ●上弦
- 16日 ●満月
- 水星が東方最大離角(夕方西の空で見やすくなる)
- 17日 天王星が衝(5.6等)
- しし座流星群が極大
- 22日 小雪(太陽の黄経が240°になる)
- 23日 ●下弦

秋の夜空

★9月15日24時
★10月15日22時
★11月15日20時
ころの夜空



★ ほしぞらだより

秋の夜空で星座を探す目印になるのは秋の四辺形です。四辺形の西側の星を結んで南の方へ伸ばしていくと、みなみのうお座の1等星フォーマルハウトが見つかります。また、東側の星を結んで南の方へ伸ばしていくとくじら座の2等星ディフダ(デネブカイトス)が、北の方へ伸ばしていくとWの星の並びが特徴的なカシオペア座が見つかります。その隣には古代エチオピアの王であるケフェウス座の姿も。

また、今年は9月に入ると土星が見つけやすくなってきます。明るい天体なので肉眼でも見つけることができますが、望遠鏡で観察すると特徴的な環を見ることができます。2025年の環の消失に向けて環の傾きが浅くなってきましたが、まだ見ることができます。ぜひ秋の星座と一緒に楽しんでください。

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星以下
- ◎ 変光星